

簿記 2025 年度松商短期大学部 一般選抜 A 出題の意図

本試験は、商業簿記の基本的な仕訳処理から財務諸表の作成まで、段階的・総合的に理解度を測ることを目的としている。

【1】仕訳問題

商品の返品、旅費精算における仮払金の清算、売掛金の貸倒れ処理、土地の購入、電子記録債権の割引、外貨建売掛金への為替予約の振当処理、設立時発行株式という7つの多様な取引をとりあげ、商業簿記の幅広い知識と仕訳の正確性を評価する出題とした。また、勘定科目は所定のリストから選択させることで、科目の意味や分類の理解も問うた。

【2】減価償却の帳簿記帳

残存価額ゼロ・定額法・月割計算・間接法の条件のもと、取得時期の異なる備品A・B・C（耐用年数3～5年）について×6年度の備品勘定および備品減価償却累計額勘定を完成させる問題。期中取得資産を含めることで、月割計算の正確な理解と間接法による勘定記入の能力を総合的に評価する出題とした。

【3】決算整理・財務諸表の作成

決算整理前残高試算表をもとに、貸借対照表と損益計算書を完成させる総合問題である。現金過不足の処理、貸倒引当金の計上（実績率法・補充法）、満期保有目的債券の償却原価法、売上原価・棚卸減耗損・商品評価損の算定、減価償却費の計算、消費税の税抜処理、支払利息の未払計上、保険料の前払処理、法人税等の未払計上という9項目の決算整理を通じ、複式簿記の決算手続きに関する総合的な知識と財務諸表の作成能力を評価する出題とした。